



校舎の残し方

- 残す**
 - 復興住宅に圧迫感があり、門小を小さく残すのでは残す意味がないため、大きく残して保存活用をする
 - 目で見ると訴え方が少なくなってきた被災地で、来訪者に目で見えて感じてもらうためには、最もインパクトがある校舎を今ある状態で見てもらう
 - 200軒以上焼けた門脇大火が、50年後震災被災者がいない世の中になった時でも後世に伝わるように、門小を公園に移転せず、痕跡を残す
- 残す際に必要な対策**
 - 構造的な耐久性を確認する
 - コンクリートの劣化状況を確認する
 - 耐震補強を行い、校舎内部に入り中を見せる
- 規模**
 - 小さい規模で残して伝える
 - 最小限の規模で残す
- 残さない**
 - 校舎の中に入って見学したくない人に配慮する
 - 後世に負の遺産を残さないために、全部解体をする
- 移設する(南浜祈念公園へ)**
 - 研修センターも兼ねて、大きな規模で南浜の祈念公園に移設する

- 移設費用について**
 - 部分保存時の移設費用に関して、石巻市長より直接説明をしていただくよう、要請する
 - 新門脇地区の土地区画整理事業、県道の盛土の進捗により、石巻南浜津波復興祈念公園への移設には調整と経費増の困難があるため、検討する

- スケジュールについて**
 - 計画を早く進める

- 周辺施設の具体案**
 - 記録した写真・DVDを展示する(被災前・被災後)**
 - 火災の時の状況の記録を展示する
 - 周辺は新興住宅地かと思うように復興しているので、震災直後からの写真を展示する
 - 一般の人が撮った記録や写真を集めて展示する
 - 映像を見たくないという人もいますので、写真で展示する

- 新しい施設の提案**
 - 新しい施設で伝える
 - 伝えるために新しく作る
 - 資料館や研修センターを計画する
 - 他の施設を使用し伝える場を作る
 - 市民活動を入れる器を作る
 - まちづくりの施設計画と一緒に検討する
 - 特別教室の利用を検討する
 - 部分保存し施設を新設する

- 特別教室**
- 校舎**
- 管理の仕方(現在及び整備後)**
 - 【現在】^済 体育館の左側の除草を行う
 - 【現在】^済 立案が完成するまで、校舎や周辺の管理をする(ネズミの巣、虫、雑草、いたずら等)
 - 【整備後】 神戸・中越・広島など、先人の取り組みを参加者で視察をし、今後数十年間を見据えた遺構の維持管理計画立案を立てる
 - 【整備後】 維持費がかかるようであれば、有料公開(徴収)にする
 - 【整備後】 計画だけを作ってその後は全部お任せとにならないように、会議後も参加者の意見を取り入れる

- 遺構の見せ方**
 - 「泥(津波堆積物)のまま」の場所は、当時の実情を伝えるため残す
 - 門小の焼けた部分(玄関と時計、新しく作った門小の碑)は合わせて保存する
 - 「出火元の壁」はAR等で校舎全体像をイメージしやすくするメリットがあるので保存する
 - 津波火災の教訓として、津波と火災の両方を残す
 - 津波が到達した場所や火災があった場所を残す
 - 校舎内部の被災状況は周辺施設で伝える

- 校庭**
 - 校庭で、火災により車の中で亡くなった方もいることを踏まえて考える
 - 慰霊碑に名前を刻む。又は、広島のように中に名前を書き入れたものを納める
- 復興の過程をアーカイブし続ける**
 - 橋にテレビカメラをつけるなどで、今後の記録を残していく
- 連携する**
 - 南浜に残る遺構と連携し残す
 - 公園と連携する
 - 南浜と連携する

- 活用の仕方**
 - 地域にとっておてんとうさまのようにありがたく感じるような遺構にする
 - 町がにぎやかになるような遺構にする
 - 国立の慰霊塔を含め、活力のある次世紀に結びえる地域づくりにつながるような遺構にする
 - 地域活性化遺構として残し、支援の借りを返す
 - 市民活動を入れる器を作る
 - 後の校舎(三階建て)と体育館大・小二個を、地域の人々が盆踊りや運動会等を楽しめる様な有効利用をする
 - 体育館を活用する
 - 体育館と後ろの校舎を利用する
 - 体育館と校舎活用について議論する
 - 街開きなど地域のために体育館を使用する

- 誰に**
 - 被災地の地域の人々に
 - 被災地以外の地域の人々に
 - 来訪者に
 - 未来の人々に
 - 子どもたちに
 - 石巻を訪れた人々に
- 何を**
 - 津波の恐ろしさ
 - 震災で失われた人命の尊さ
 - 被害を最小限に食い止める努力
 - 復旧・復興に向かう姿勢
 - 避難に成功した良い事案だけでなく、失敗した最悪な事案
 - 類似災害が発生した場合の対処の仕方、身の守り方
- どのようにして**
 - 日常的に思い起こし、語り継ぐことを促すような遺構にする
 - 震災について考え、長く記憶にとどめ、鎮魂につながるような遺構にする
 - 防災・減災意識の醸成を促すような遺構にする
 - 必ず立ち寄り寄って頂けるような遺構にする
 - 門小に関心・興味を持ち、見ただけで何かを感じて帰って頂けるような遺構にする

伝承・教育のための震災遺構にする